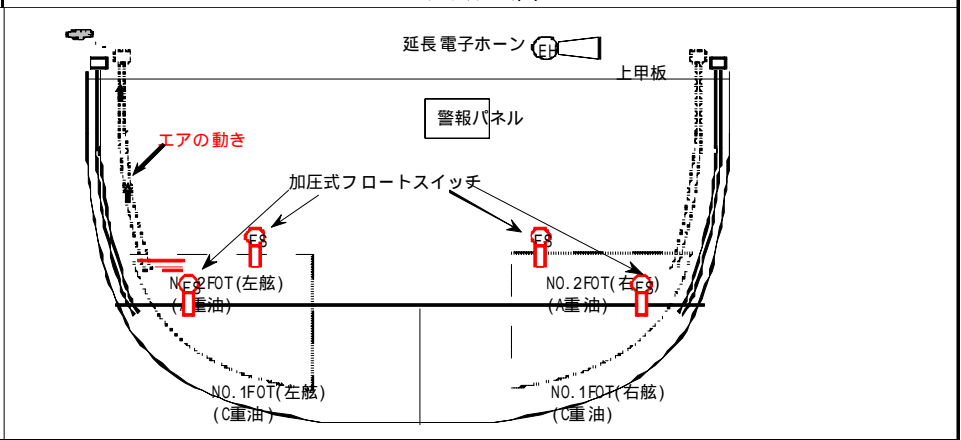
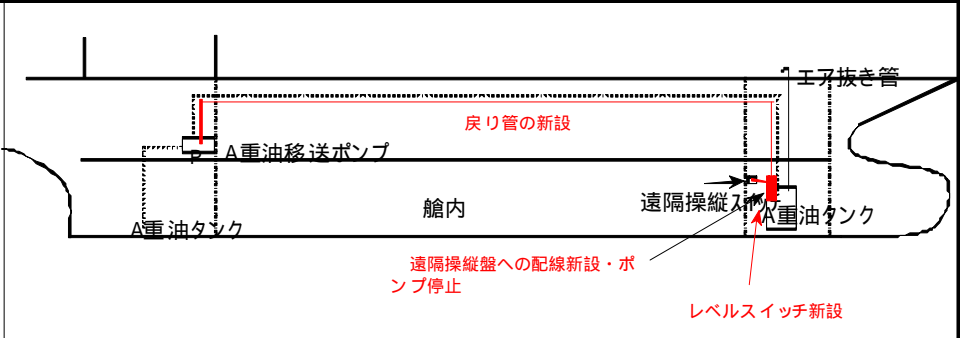
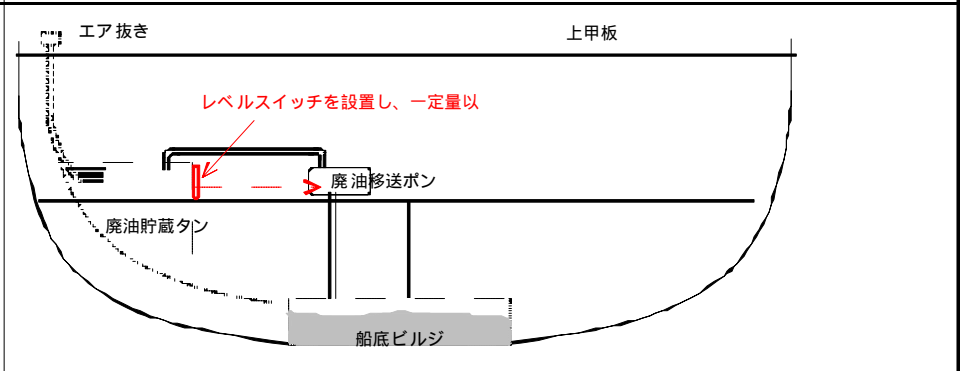


業 種	海運(貨物)
取組分野	安全重点施策の確実な実施等
テーマ	海上漏油事故防止のための設備改造等
取組の狙い	船舶への燃料補給時等にヒューマンエラーが起きても設備面での対策により海上漏油事故を防止する
具体的内容	<p>1. 日鐵物流(株)では、ヒューマンエラーによる漏油事故の可能性を極力排除するため、以下の設備面での対策に取り組んでいます。</p> <p>これはヒューマンエラーをゼロにすることは困難とし、設備面での事故防止策をトップマネジメントの判断により推進したものです。コストについては用船の船舶を含め当社が負担することとしています。</p> <p>但し、設備面での対策への過度の依存は危険ですので、あくまでも手順書通りの対策実施を基本としています。</p> <p>船舶への燃料油の補給時、誤ってタンク容量を超える燃料油を搭載しようとした場合の警報装置の設置</p> <p>主油タンクから船首部油タンクへの燃料油移送時、誤ってタンク容量を超える油を移送しようとした場合の移送ポンプ自動停止装置又は主タンクへの油戻りラインの設置</p> <p>船底ビルジの廃油貯蔵タンクへの移送時、誤ってタンク容量を超えるビルジを移送しようとした場合の移送ポンプ自動停止装置の設置</p> <p>緊急時用の船内排水装置を誤って作動させようとした場合であっても船底のビルジが排出されないように、排出ポンプの作動ロック装置の設置</p> <p>2. 上記の対策は、当社保有船のみならず、当社がオペレートする全ての船舶に対して実施することとしており、本年1月から順次改造工事に着手、本年度中の完了を目指しています。また、上記漏油事故対策の普及について、関係造船所への働きかけを行っています。</p> <p>3. なお、上記の漏油事故対策の他、船舶の運航に係る事故を防止するため、専門の教育指導会社に委託して、保有船及び全てのオペレート船を対象とした乗船診断・指導(レーダー解析等各種航海計器の利活用、安全指導等)を行っています。また、診断</p>

	の結果は各船別に報告書としてとりまとめ。)を順次実施しています。
取組の効果	平成 21 年は、これまで海上漏油事故は起きていません。
事業者名	日鐵物流(株) (連絡先:海運事業部 運航部 電話 03-3553-1856)

(別添) 海上漏油防止対策図

部署	システム図
<p>船体付き重油タンクのエア抜き管 (補油時の漏油防止)</p>	
<p>船首部重油タンクへの重油配管 (船内での燃料油移送時の漏油防止)</p>	
<p>廃油貯蔵タンクへの移送管 (ビルジ移送時の漏油防止)</p>	
<p>危急ビルジライン (船底ビルジの漏油防止)</p>	